令和2年度事務事業実績評価表											
_1事	業概要					課名	環境モデル都市推進課	事業No.	154		
						会計	一般会計				
事務事業名			環境	にやさしい	交通社会形成事業	事業区分	経常	実施区分	継続		
						開始	H21	終了			
	主要区分	<u>}</u>	主	記号	計画等名称						
	戦略計画			10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらし	をおくる					
根	分野別計画			飯田市環境	 基本計画(21 'いいだ環境プラン)						
拠				第2次飯田	第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版						
	法令・例規等			飯田市環境	基本条例						
事業目的		対象		市民、事業所及び行政							
		意	図	低炭素な移動 出量を削減す	動手段への転換を推進する取組として、自転車の活用及びノーマイカー通勤、公共交通の利用を推奨し、温室効果ガス排 する						

## 2 事業内容

2 事業内容														
			取組内容			経費の内容					事業費(千円)			
	低炭素	くな交通手段へ (	の転換を推進する	自転車	自転車市民共同利用システム運営					2,244				
	利用促進	[を目的とした]	自転車市民共同利	川用システムを済	運営し イ	低炭素車西	の維持管	理			129			
	ました。													
	また、	電気自動車に。	よる低炭素車両の	)運行実証を継続	売する									
	とともに	、電気事業者、	バス事業者との	)協働により、ī	市民バ									
2年度	ス循環線において「EVバス運行実証」を開始しました。													
取組	「地域ぐるみ環境ISO研究会」が地球温暖化防止に向け													
	て取り組んでいるノーマイカー一斉行動を支援し、事業所・													
	市民・行政が一体となり、地域ぐるみで温室効果ガスの削減													
	への取組	1を行いました。			F									
	その他の経費											0		
					29年度	姓貝 中成30年度 令和元					-			
	指	標名 (数値でえ	長せる活動量)	単位	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績		
	白転声は	日井田利田と	ステム走行距離	km	97.892	90.592	97,892	88,434	77,248	77,922	77,248	51,738		
		氏共向利用シス       及啓発イベン			97,092	90,392	2	2	2	11,922	2 2	2		
		イカー通勤一斉行		人	10.000	20.628	_	18,279	12.000	11.310	12.000	29.555		
活動指標	7-41	刀一进到一月1	」劉多加有奴		10,000	20,020	10,000	10,279	12,000	11,310	12,000	29,555		
		5 F1 HF1	2,606	(こ) 1 ハ カユ	特定財源内訳及び補足事項 そ)レンタサイクル使用料									
0.4T.PT	7	決算額	2,373	(て) レンタリ	イクル侠	1月74								
2年度		国庫支出金	0											
決算	財源の	県支出金	0											
(千円)	状況	地方債 0												
		その他	249											
		一般財源	2,124											

## 3 事務事業を構成する予算科目

$\overline{}$		K C 14.	י ל אנו	<del>اد</del> د					
番号	会計	款	項	田	大 事 業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	6	2,606	2,373	環境にやさしい交通社会形成事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返	事業開始から12年目を迎えた自転車市民共同利用システムについては、老朽化した車体の適正管理による安全性確保を行いつつ、新たなあり方を検討する必要があります。 電気事業者、バス事業者との協働によりEVバス運行実証を行い、環境にやさしい交通と域産域消に向けたエネルギーマネジメントを行う必要があります。								
	上記の課題解決								
	次年度に向けて の取り組み 2050年いいだゼロカーボンシティに向けて、交通分野の脱炭素化を促すため、自転車利用促進、次世代自動車の普及促進 による移動手段の脱炭素化への転換と、再エネ利用によるエネルギーマネジメントの具体化を検討します。								